

一 般 質 問 通 告 書

令和5年第1回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者
1	5	濱 田 洋 一	1 農林水産業の振興について	(1) 地域経済の発展に必要なことの一つとして、基幹産業である一次産業の活性化が不可欠であると思うが、このことについてどのように考えているか。	市 長
				(2) これまで担い手の育成、後継者の確保を目的として、農業分野においては国の新規就農者支援事業と市の壮年世代新規就農者支援事業、水産業分野においては漁業後継者就業支援交付金事業など各分野における取組がなされているが、事業の成果はどのような状況か。	市 長
			2 観光を基軸としたまちづくりについて	(1) 「将来に向けて観光を基軸としたまちづくりを行っていきたい」と述べられているが、具体的にどのような施策・事業に取り組む考えか。	市 長
				(2) これからのウィズコロナ、アフターコロナにおいて、社会経済活動が活発化していくと思われるが、本市の観光の柱でもある「食」、「癒し」、「体験」を通して市外・県外からの誘客や交流人口を増加させるために、どのようなビジョンを持っているか。	市 長
			3 教育行政について	(1) 学校規模の適正化及び学校再編を進めていく中において、基本方針の事項に限らず、大きな学校を希望されない子供への対応のために、特認校制度の継続を含めた小規模校の在り方、存続について検討すべきであり必要なことと考えるがいかかか。	教 育 長
				(2) 学校施設の計画的な保全、就学や通学の支援、安心安全でよ	教 育 長

				<p>りよい教育環境を作ることが大事なことの大きな柱であると思うが、どのように進めていく考えか。</p> <p>(3) 学校教育は、確かな学力を身につけるとともに、道徳心を養い、豊かな心と健やかな体を育む教育、そして思いやりの心の教育が大切であると思うが、これらに関し現在どのような取組がなされ、今後どのようなことを進めていく考えか。</p>	教 育 長
2	1	竹之内 和 満	<p>1 「うみ・まち・にぎわい」再生整備基本計画について</p> <p>2 定住人口減少の緩和策について</p> <p>3 官民連携について</p> <p>4 学校規模適正化における取組の現状について</p>	<p>(1) 市街地における観光拠点として旧港周辺の開発が必要と思われるが、今後の計画の展望はどのようなになっているか。</p> <p>(2) 計画の実現を担保するために、基金の積立てを行ってはどうか。</p> <p>(1) 阿久根市の人口変動の推移はどのようなになっているか。</p> <p>(2) 阿久根市の合計特殊出生率の推移はどのようなになっているか。</p> <p>(3) 主な人口減少緩和策は何であるか。また、成果は出ているか。</p> <p>(1) 自治体経営は行政だけでは限界があり、これからは民間との協力・連携が必要不可欠になってくる。市における官民連携の現状はどのようなになっているか。また、今後新たな取組を行う予定はあるか。</p> <p>(2) 民間のノウハウや創意工夫を活用するため、職員の民間企業への研修・出向を行ってはどうか。</p> <p>(1) 第2次阿久根市学校規模適正化基本方針の変更・修正点はあるか。</p> <p>(2) 脇本小学校、折多小学校及び三笠中学校の小中一貫教育に向</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p>

				けての取組はどのように進んでいるか。	
3	13	山田 勝	1 特産品等流通促進支援事業（第3弾）について	(1) この事業を利用して販売された特産品の販売金額の総額はいくらか。 (2) この事業の補助対象事業者のうち補助金額が多かった上位5者の販売金額は、それぞれいくらか。 (3) 今後もこの事業を取り組む考えはないか。また、取り組む場合、その財源をどうするのか。	市長 市長 市長
			2 あくね応援寄附金（ふるさと納税）の取組について	(1) あくね応援寄附金の寄附額の推移はどのようになっているか。また、本年度の見込みはいくらか。 (2) 返礼品の内容によって寄附金額が増えると聞くが、本市の返礼品で人気があるものはどのようなものか。また、その中で一番人気があるものは何か。 (3) 寄附された方一人当たりの寄附金額の平均額はいくらか。また、もっとも件数が多い寄附金額はいくらか。さらに、1回の寄附で最も高額であった金額はいくらか。	市長 市長 市長
			3 あくね応援寄附金の活用方法について	子育て支援策をさらに拡充することに活用すべきであると考えているが、次の事項に関する本市の状況や市長の考え方を伺う。 (1) 出生時の祝金等 ア 現在、どのような支援を行っているか。 イ 今後、拡充する考えはないか。 (2) 保育料の無償化 令和5年度の新規事業として予定されているが、どのような経緯で事業化したのか。また、予算等はどのような取扱いになるか。 (3) 小・中学校の給食費の無償化	市長 市長 市長・教育長

			4 市街地の活性化について	<p>学校給食費を無償化するために必要な金額はいくらか。</p> <p>青果市場跡地の活用について、市長は所信表明・施政方針において「これまでの議会等での議論を踏まえ、有識者等とも連携し、整備手法やその担い手、さらには運用方法の検討を行うとともに、引き続き、活用の具体化に向け県と必要な協議を行ってまいります」と述べられたことについて</p> <p>(1) 県との具体的な協議はこれまで行われておらず、今後行われると理解してよいか。</p> <p>(2) 市長は具体的にどのような活用策を考えているか。</p>	市長	市長
4	14	岩崎健二	1 農業・漁業の後継者の育成・支援について	<p>(1) 農業・漁業の後継者を育成する事業について</p> <p>ア 農業、漁業それぞれにおいて、事業を始めてからの実績はどのようになっているか（青年・壮年ごとに）。</p> <p>イ 現在の制度に課題や問題点はないか。あるとすれば、どのように改善していくか。</p> <p>(2) 農業・漁業を営む上で、法令上の制限や必要な許認可、制度を活用する上で取得する必要がある資格等があるか。</p> <p>(3) 農協及び漁協とはどのように連携しているか。また、農協及び漁協などの支援体制はどのようになっているか。</p> <p>(4) 農業・漁業の後継者の育成・支援は、今後どのような体制で行っていくと考えているか。</p>	市長	市長
			2 消防行政について	<p>(1) 現在の消防庁舎について</p> <p>ア 築年数は何年か。また、現在までの改修を行っているか。</p> <p>イ 耐震性に問題はないか。</p> <p>ウ 庁舎の地盤の高さは何メートルか。また、津波等による</p>	市長	市長

				<p>浸水被害の恐れはないか。</p> <p>エ 女性専用の施設・設備はあるか。</p> <p>オ 耐用年数はあと何年か。また、建替えの予定があるか。</p> <p>(2) 分団員の充足率について 現在の分団員数及び充足率は。</p> <p>(3) 分団員の出動謝金等について 分団員への出動謝金等は、どのような取扱いを行っているか。</p>	市	長
			3 再生可能エネルギーの推進について	<p>風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの推進について、今後どのような施策を考えているか。</p>	市	長